



コミコミスク

明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail: gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 158

2022

5.11

教育が変わる 学校が変わる 広島県のアプローチ

前号では成人年齢が18歳に引き下げられたことに関連して、2022年3月24日に報告された最新の日本財団の調査報告から若者の傾向を探ってみました。その中から子どもたちの非認知能力面での課題が見えてきました。そうした中で今後の学校のあり方として「社会に開かれた教育課程」の実現が求められています。今後の学校教育の方向性を考える時、一歩踏み出した広島県の取組は参考になるのではと思います。

そんな広島県の取組をネットニュースの中で集めてみました。公立でもこんなことができるんだと……。まず“発想”なんですね。社会が変われば、求められる資質・能力は変わり、教育も変わっていくことが自然なのかもしれないですね。ぜひ、QRコードからアクセスしていただけたらと思います。

◇「広島県の公教育」が大変貌、教育長・平川理恵「もっと教委は現場に行け」の真意

国際バカロレア、イエナプラン、不登校支援ほか

広島県の学校教育が大変貌を遂げている。公立初のイエナプラン教育校や国際バカロレア認定校の開校、商業高校での「ビジネス探究プログラム」導入や内申書をほぼなくしてしまう高校入試改革など、話題に事欠かない。こうしたダイナミックな変化を牽引しているのが広島県教育委員会だ。教育委員会は何を目指し、学校を、教職員を、そして教育委員会自体をどう変えていったのか。改革の旗手を務める広島県教育長の平川理恵氏に話を聞いた。(東洋経済 education より)

<https://toyokeizai.net/articles/-/583274>



◇広島「不登校支援センター」、オンラインの探究学習やクラブ活動が好評

校内フリースクールに限定せず学習支援を拡大

広島県教育委員会が不登校児童生徒の支援を目的に、2019年度から県内の公立小中学校に設置を始めた「スペシャルサポートルーム」は、昨今全国に広がりつつある校内フリースクールの草分け的存在だ。さらにこうした不登校支援に関する業務を集約して強化すべく、県教委は21年4月に県庁内に「不登校支援センター」を新設した。オンラインの活用も拡大したというこの1年、どのような成果があったのだろうか。(東洋経済 education より)

<https://toyokeizai.net/articles/-/582768>



◇自由にカリキュラムを選べる 不登校児童らを支援する「スクールエス」とは 広島

今回のテーマは「不登校児童や生徒の支援」です。2016年から2020年までの県内の不登

校の児童・生徒の数です。いずれも右肩上がりに増えていて、その支援策が求められてきました。

そうした中、県は、不登校児童・生徒を支援する新しい形の施設をオープンしました。それが「スクールエス」です。その特徴は、対面形式とオンライン形式を組み合わせ、子供たちが、自由に学びのカリキュラムを選ぶことができることです。先月末、その開所式が行われました。

東広島市の県立教育センターに設置された「スクールエス」。開所式には、湯崎知事や県教育委員会の平川教育長も参加しました。(TSS テレビ新広島)

<https://www.tss-tv.co.jp/tssnews/000014476.html>



◇広島県立高、保護者負担で「1人1台端末」の本気

民間出身校長が転身「広島県教育長」の凄腕

「日本一の教育県の実現」を掲げる広島県の教育委員会教育長に就任した平川理恵氏は、これまで常識破りの改革を進めてきた。リクルートからMBA留学を経て起業後、教育界へ飛び込んで民間出身初の女性校長になった人物だ。2018年からは広島県の教育委員会教育長として、前例にとられない挑戦を今も続けている。その取り組みが、コロナ禍でも見事に生きることになった。(東洋経済 education より)

<https://toyokeizai.net/articles/-/381988>



◇公立初「イエナプラン教育校」に移住者も集う訳福山市立常石小「異年齢集団教育」の成果

ドイツで生まれ、オランダで普及した「イエナプラン」。2019年には、日本でも初のイエナプランスクール認定校として私立の大日向小学校(長野県佐久穂町)が開校し、話題となった。そして今、公立初のイエナプラン教育実践校として注目されている学校をご存じだろうか。広島県福山市が22年春に開校を目指す小学校(名称未定)だ。福山市立常石小学校(福山市沼隈町)の施設を活用して開校するため現在は移行期間となっており、すでにイエナプラン教育をスタートしている。いったい、どのような教育活動を行っているのか。(東洋経済 education より)

<https://toyokeizai.net/articles/-/416470>



◇全ての子供たちの「主体的な学び」の実現に向け

個別の状況に応じたカリキュラムの編成・実践に関する提案

～Society5.0を見据えた「学びの変革」のアップデート～

本県では、全ての子供たちの「主体的な学び」の実現に向けて、個別最適な学びに関する調査研究を進め、令和2年3月に「個別の状況に応じたカリキュラムの編成・実践に係る提案」として整理するとともに、同年4月から、県内4地域において「個別最適な学びに関する実証研究」に取り組んできました。(2か年事業)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku17/kobetu-teian.html>



※広島県教育委員会のホームページです。多くの実践事例が紹介されています。

是非一度覗いてみてください。

(文責：北本)